



2005年 ユネスコ/日本

# アジア・太平洋地域環境教育研究セミナー

Asia Pacific Environmental Education Research Seminar, 2005

持続可能な未来に向けた環境教育- 教師のための環境教育実践プログラム -

● 期日 平成17年11月24日(木) 午前9時30分～午後5時30分

(11月22日～23日・25日 専門家会議)

● 会場 ネ！ットU仙台市情報・産業フラザ (アエル内)

入場無料、同時通訳あり

持続可能な社会の実現は21世紀の人類の大きな課題であり、その実現のためには多様で長期的な教育の取り組みが必要です。2005年は持続可能な開発のための教育の10年の開始年であり、各国が、これまでの経験を踏まえた幅広い視野で、地球環境保全に向けた活動を展開することが求められています。

このセミナーでは、環境教育の計画・方法、実践の取り組みに不可欠な環境教育実践プログラムについて各国における活用事例や実践上の諸課題を取り上げ、今後の望ましい教育実践の進め方と課題解決に向けた教育協力のあり方を議論します。多くの方々のご参加をお待ちしています。

<http://www.eec.miyakyo-u.ac.jp/APEID2005/index-j.html>

## 11月24日(木) 公開セミナープログラム

9:30～9:50 開会の挨拶

9:50～10:30 基調報告

1. 「持続可能な開発のための教育 (ESD)について」

日本ユネスコ国内委員会事務局 (文部科学省)

2. 「環境教育の推進について」 (仮題)

文部科学省教育課程課長 常盤 豊 氏

10:40～12:00 基調講演

「持続可能な未来のためのESDの役割」

ヨーク大学教授・チャールズ・ホプキンス氏

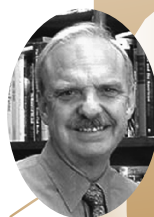
12:00～13:00 昼食

13:00～15:00 国別実践報告

15:00～15:20 休憩

15:20～17:20 国別実践報告

17:20～17:30 閉会の挨拶



ユネスコの学際連携プロジェクト「持続可能な未来のための教育」のシニアアドバイザー。現在、持続可能な開発のコンセプトに向けた教師教育に関するユネスコの国際プロジェクトの委員長をつとめている。トビリシ宣言の作成を支援したカナダチームの一員でもあり、またアジェンダ21の36章「教育、パブリックアウェアネス、訓練」の起草メンバーの一人でもある。

● 主催/日本ユネスコ国内委員会・宮城教育大学

特別協力/社団法人 仙台ユネスコ協会

後援/宮城県・仙台市・宮城県教育委員会・仙台市教育委員会・読売新聞東北総局・朝日新聞仙台総局・毎日新聞仙台支局・河北新報社 NHK仙台放送局・TBC東北放送・仙台放送・(株)宮城テレビ放送・東北グローバルセミナー

問合せ先/宮城教育大学環境教育実践研究センター 内セミナー事務局 TEL: 022-214-3545